



蕪山南小学校  
学校だより

学校教育目標:ともに高め合う きららの子



令和6年 5月発行 第2号

「地域に信頼  
され、地域  
とともにある  
学校」を  
めざして

## 笑顔がつながり 笑顔でつながった 一年生を迎える会

校長 土屋 貴俊

一年生を迎える会を実施しました。迎える側の子供たち一人一人が一年生のことを大切に思い、優しい気持ちがこめられた温かな会となりました。

入場の際は大きな拍手で迎えられ、少し緊張した面持ちの一年生でした。ステージの上に立つと六年生のサポートもあり堂々と自己紹介を行い、一人一人違った決めポーズで自分を表現しました。その後はリラックスできたのか、笑顔があふれ上級生の出し物を楽しんでいるようでした。

毎年、六年生がつくったメダルを一年生へプレゼントしています。今年は事前にペアの顔合わせを行いました。会話をとおしてペアを理解し、その子に合わせたメッセージを書きました。一年生はメダルに自分の名前が書いてあることや仲良くなった六年生からもらったことで喜びも増したのではないのでしょうか。



一年生と一番近い存在の二年生は、はじめの言葉の中で南小の生活で楽しいことをたくさん紹介しました。「～をがんばれるよ!」「～が楽しいよ!」「なかよくしようね!」等、一人一人が話しかけるように伝え、一年生は学校生活への期待が膨らんだことと思います。

四年生の校歌の紹介では、四年生の子供たち一人一人が分担して歌詞を画用紙に大きく書きました。それを一年生に見せながら全校で大きな声で斉唱しました。上級生の気持ちのこもった歌声と一緒に口ずさんでいる一年

生もたくさんいました。南小の子供たちが一つにつながることができました。

五年生の学校紹介クイズでは、南小や担任に関わる問題が出されました。耳を傾け一生懸命に考えている一年生の姿がたくさん見られました。

三年生の終わりの言葉では、ドキドキの一年生の思いに寄り添い、上級生の自分たちも入学した頃は不安な思いでしたが、学校では応援してくれる人、支えてくれる人がたくさんいたので元気に登校できたことを伝えました。最後に一年生へ三年生全員から笑顔でエールを送りました。

南小 302 名が優しい言葉と笑顔でつながる行事となりました。この全校の共有体験で実感した支え合うよさや他者を思う気持ちをこれからの生活に生かしていけるものと信じています。

